

令和時代を迎えて「過去オール善」

1. 「過去オール善」

「平成」が終わり「令和」が始まりました。10連休という長期休みも初めての経験です。この7月に満70才になる私にとって前号でも書いた「おまけの人生」のステージⅡの幕開けになるのです。「おまけ」とは言っても時間を無駄に過ごす事は不本意なので、如何に生きるかを考えてみたいのですが、その元は過去にあるので人生を振り返ってみます。まず、右掲上は、現在、使用中の三菱エアトレックという車で、右掲下は、トヨタ系販売店に勤務して初めて導入したIBMシステム32というオフコンです。これらに代表されるように、私にとっては、「自動車」と「コンピュータ」が切っても切り離せない存在だったのです。



これらの「文明の利器」を利用して青春時代を過ごしたのです。まず、自動車は、スズキのフロントから始まりトヨタのパブリカ、スプリンター3台、三菱のコルトとエアトレックと乗り継ぎました。どんどん性能がよくなったので、自動車は魅力ある文明の利器だったのです。今は、性能がほぼ頂点化しているのです、心を奪うような魅力あるものではなくなっています。次に、コンピュータですが、トヨタ系販売店でIBMシステム32のバッチ処理から始まり、次のシステム34でオンラインシステムで社内業務の殆どを開発して、システム36から36GPの時代は開発の端境期だったので3年間社外のシステム開発をして、社内では経験できないAPPC手順で異機種接続や生産管理のMRPシステム、そして、今、お客様の鋸螺システムの PACKET 通信料を半減するなどを行い合計1億円を稼ぎました。その後、9370を営業所オンライン機として、そのデータをAPPCで本社システムのIBMシステム36GPに同期する構築して、その後、トヨタ自動車の物流改善のモデル店になりJit方式の開発やIBMのSISプロジェクトからテレ・マーケティングまで開発して、当時、考えられるシステムを完了したのです。

この後、平成4年に閑職への辞令を機にして、関連会社へ転職しましたが、お客様の層が零細企業が多く希望通りの仕事ができず、会社では日本LCAの「DIPS」を導入し、個人的には自費で船井総研の客員経営コンサルタント資格を得て、平成7年6月に手掛けた開発案件の終了を機会に退職して、有限会社エー・エム・アイを創業して自営を始めました。

2. 「縁・運・ツキ」

「21世紀は企画の時代」という言葉を信じて開業しましたが、無謀にもお客様がゼロだったのです。私は、友人宛てに「AMIブレティン」と題したA4で1枚の情報発信を始めたところ、有難い事に、あるお客様は「栩野さんはお客様がなくて困っているだろう」と言ってシステム開発を発注して下さったり、サラリーマン時代にコンピュータ用紙を発注していた会社から営業活性化の仕事を得たり、さらには、富士通系の情報会社から「PL法セミナーを手伝わないか」と声をかけて頂き、その来場客のフォロー活動から実質的に第1号のお客様と契約ができるようになったのです。

この案件は、診断から入るもので初年度1千万円の契約で支援してくれた船井総研の役員が驚き「クレームが出て知らない」と念を押される程のものでした。このお客様で「Faxちらし・3段活用マーケティング」というオリジナル商品を開発して、年商16億円から20億円に引き上げる実績を出したのです。この自信でセミナーを打ち、マス・プル型コンタクト戦略をとって、例えば、手芸卸・クリーンニング資材商・電気工事資材卸・コクヨ系文具卸・事務用品卸など主として卸売業様が増えました。さらに、前職時代のご縁を通じて鋸螺卸・情報システム開発会社とも契約が出来て、今日に至っています。「縁・運・ツキ」と言いますが、よいご縁に恵まれたと感謝しています。

3. 鄙の論理

今号は「過去オール善」というタイトルですが、青春時代はトヨタ系販売店でシステムを担当して、コンピュータを通して文明を利用して来ました。朱夏時代の平成は、企業なら100%普及している Fax を活用するマーケティングからスタートしたのです。‘95年はインターネット元年とも言われたのですが、敢えて、自分で行える Fax を選んだのです。「鄙の論理」という言葉がありますが、先端とは対面の周回遅れをメインにしたのです。この戦略がユニーク性を発揮しました。

その後、デザイナーを雇い通常の「ちらし」制作を行うと同時に‘98年7月に自社のホームページ (HP) を立ち上げて、お客様の HP 作りを付加しました。そして、9年前に三男が入社して、お客様の業務改善でシステム開発をするようになりました。このシステムも鄙の論理で VBA という言語で開発しています。例えば、大手企業からの EDI 発注データを自社品番に翻訳して在庫から出荷・発注するシステムを構築して、パート社員だけで納品が出来て、ミスが少なく大手企業から表彰を受けています。この実績で信頼されて、三男がお客様の業務の一部を代行するようになっています。

4. 令和時代に向けて

昨年12月2日発信の620号で「文明の利器」と題して、全自動洗濯乾燥機(右下)と電気圧力鍋(右中)を利用しているとご紹介しました。今年、油を使わないフライヤー(右上)を購入しました。実は、5年前に妻に先立たれて家事を自分で行う必要があるのです。恥ずかしい話ですが、私は家事を殆どした事がなかったのです。

まず、洗濯は、たまたま、妻の生前に右下の全自動洗濯乾燥機(右下)を買ってあったので、朝、タイマーで乾燥までを帰宅する頃に仕上がるようにセットできるので早期に解決しました。このタイマー機能は、非常に役立っています。次に、炊事も長らく自動炊飯器を活用しており、これもタイマーセットで夕方に炊き上がるようにしていたのです。問題は、おかずです。煮たり、焼いたり、揚げたりの調理が必要なのです。IHクッキングヒーターなので安全・安心ですが、自動化という点では何も対策を打てていなかったのです。昨年、冬に電気圧力鍋を購入し、タイマーセットで夕飯前に「肉じゃが」や「おでん」が炊き上がるようになり重宝しています。最近、揚げ物をスーパーで買うので、健康上の事もあってカロリーを抑える為に電気フライヤーを購入したのです。

しかし、この電気フライヤーにはタイマー機能がないという欠点と温風だけの唐揚げだとおいしくないという事もあり、揚げ物を休日にまとめて油で揚げて冷蔵保存して、食べる時に電気フライヤーで温めるようにしています。こんな方法ですが、意外にも、結構、油が落ちるので、カロリー抑制効果を発揮して減量につながって満足しています。

このように、平成の最後は、衣食住の課題を克服して来ましたが、これから始まる令和時代には個人的に70代になるという人生の大きな課題が待っています。文明の利器としては、既に、ブログやメルマガを発信し、スカイプで東京にいるデザイナーと打合せするなど色々取り入れています。残る課題は、どんどん進化するIT技術に追いつく事ですが、これも「鄙の論理」で最先端を追いかけずに周回遅れでやって行きたいと思えます。周回遅れと言っても、IT世界のスピードが速いので、少し待てば、安価に手に入れられるので、弊社やお客様には好都合なのです。

お陰様で三男も成長して、あるお客様のシステムを開発納入まで出来るようになりました。一つの壁を突破して、今後の折れない自信になると喜んでます。残る課題は、事業承継ですが、今のところ、2025年に創業30周年を迎えるので、この機会に行えたら幸せだと考えています。老害という言葉がありますが、できるだけ口を出さないようにして三男の自立を支援したいと考えています。



【AMIニュースのバックログは <http://www.web-ami.com/siryo.html> にあります！】